



平成20年10月29日

各位

会社名 東邦チタニウム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 久留嶋 毅  
コード番号 5727 (東証第1部)  
問合せ先 社長室主席参事 松原 浩  
(TEL. 0467-82-2915)

### 業績予想修正並びに中間配当決定及び期末配当予想修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年10月29日開催の取締役会において、下記のとおり平成20年4月30日の決算発表時に公表した業績予想及び配当予想を修正するとともに、平成20年9月30日を基準日とする中間配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想修正

(1) 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	48,200	10,500	10,200	6,400	105.48
今回修正予想 (B)	45,800	8,600	8,200	5,100	84.05
増減額 (B - A)	△2,400	△1,900	△2,000	△1,300	—
増減率 (%)	△5.0	△18.1	△19.6	△20.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	44,904	13,752	13,312	7,783	128.28

(2) 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	41,400	9,700	9,500	8,200	135.14
今回修正予想 (B)	39,500	7,800	7,600	7,100	117.01
増減額 (B - A)	△1,900	△1,900	△1,900	△1,100	—
増減率 (%)	△4.6	△19.6	△20.0	△13.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	33,219	11,160	11,473	7,003	115.42

(3) 理由

第2四半期までの業績につきましては、ほぼ計画通りに推移いたしましたが、第3四半期以降につきましては、大手航空機メーカーの製造遅延、米国のサブプライムローン問題に端を発する世界経済の減速等の影響が鮮明になり、主力の金属チタン事業において、航空機向け、一般工業向けともに需要の落ち込みが見込まれます。この中で、通期の販売量、2009年契約の販売価格については、これまでの想定を下回ることが予想されます。また、コスト面においても原材料の高騰等により更なる増加が見込まれます。

機能化学品事業においても、触媒製品、電子部品材料ともに需要が当初の想定を下回ることが予想されます。

そのため、通期の売上高及び利益は連結、個別ともに当初予想を下回る見通しであります。

2. 中間配当決定及び期末配当予想修正

(1) 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成20年4月30日公表)	前期実績 (平成19年9月中間期)
基準日	平成20年9月30日	同左	平成19年9月30日
1株当たり 配当金	10円00銭	14円00銭	12円50銭
配当金の総額	606百万円	—	758百万円
効力発生日	平成20年12月2日	—	平成19年12月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想修正の内容

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
前回予想(平成20年4月30日発表)	14円00銭	14円00銭	28円00銭
<b>今回修正予想</b>		10円00銭	20円00銭
当期実績	10円00銭		
前期(平成20年3月期)実績	12円50銭	15円50銭	28円00銭

(3) 理由

利益配分に関しましては、「業績を反映した株主還元」を基本に、企業基盤強化に向けた内部留保の必要性和安定配当の維持にも意を払いつつ決定することを方針としております。株主への配当金は、設備投資、財務状況等を勘案して決定することとしており、連結当期純利益の20%以上を維持することを基本としております。

この度、平成21年3月期の業績見込みが当初予想を下回ることから、誠に遺憾ながら、平成21年3月期の中間配当及び期末配当を上記のように減額させていただきます。

以上